



エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

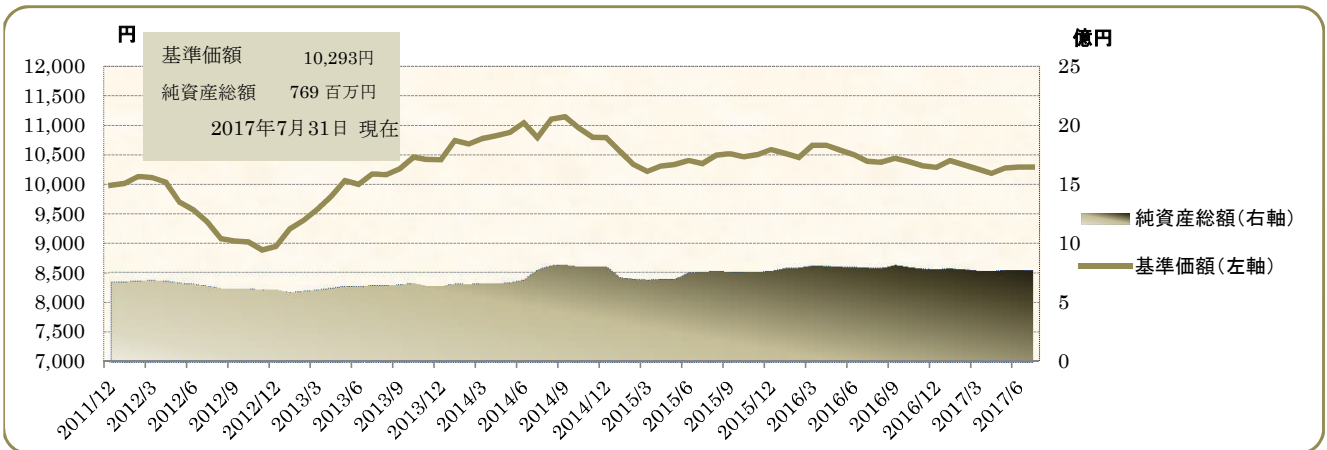
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2017年7月31日

基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

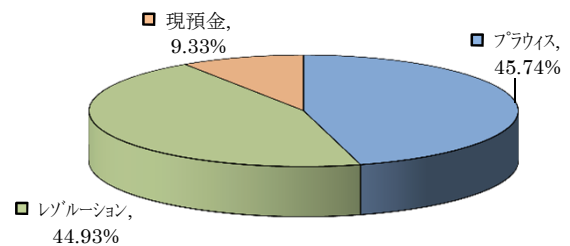
| 2017 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 騰落率 | 1.12% | -0.65% | -0.70% | -0.74% | 0.89% | 0.15% | 0.02% | | | | | | 0.07% |
| 2016 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
| 騰落率 | -0.65% | -0.67% | 2.02% | -0.04% | -0.75% | -0.70% | -1.11% | -0.13% | 0.67% | -0.58% | -0.66% | -0.29% | -2.90% |
| 2015 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
| 騰落率 | -2.19% | -2.07% | -1.13% | 0.85% | 0.28% | 0.68% | -0.50% | 1.31% | 0.29% | -0.49% | 0.32% | 0.87% | -1.85% |



運用実績

| | | |
|---------|-------------|--------------|
| 設定日: | 2011年12月19日 | |
| 決算日: | 毎年11月30日 | |
| 当初設定元本: | 673百万円 | |
| 基準日: | 2017年7月31日 | |
| 基準価額: | 10,293円 | 対前月比 2円 |
| 純資産総額: | 769百万円 | 対前月比 -2.8百万円 |
| 設定来高値: | 11,146円 | |
| 設定来安値: | 8,888円 | |
| 期間別 | 3ヶ月 | 1.06% |
| 基準価額騰落率 | 6ヶ月 | -1.04% |
| 設定来 | ファンド | 2.93% |
| 基準価額騰落率 | TOPIX | 123.70% |
| | 日経平均 | 137.16% |

投資対象ファンドへの資産配分 (2017年7月31日現在)



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

| 2017 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| プラウイス | 0.49% | -0.64% | -1.07% | 0.54% | 0.23% | 1.11% | 1.29% | | | | | | 1.95% |
| レゾリューション | 2.64% | -0.21% | 0.10% | -1.57% | 2.37% | -0.94% | -0.61% | | | | | | 1.73% |
| 2016 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
| プラウイス | -0.72% | -0.39% | 1.59% | 0.73% | -1.70% | -2.76% | -0.40% | 0.23% | 0.59% | 0.33% | 1.76% | 0.04% | -0.80% |
| ウィズダム | -0.47% | -2.84% | 1.22% | 0.50% | -1.58% | -1.30% | -0.63% | -1.17% | 0.52% | -0.71% | -0.53% | N/A ※ | -6.83% |
| レゾリューション | 0.02% | 1.80% | 4.82% | -0.39% | 1.60% | 2.29% | -1.64% | 1.14% | 1.99% | -0.53% | -2.34% | -0.01% | 8.87% |
| 2015 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年初来 |
| プラウイス | -2.91% | 0.43% | -0.74% | 1.81% | 0.84% | -0.27% | 0.22% | 0.84% | 0.48% | 0.83% | 0.19% | 0.15% | 1.82% |
| ウィズダム | -1.38% | -1.99% | -0.24% | 0.27% | 0.85% | 1.82% | 0.96% | 1.39% | -0.95% | 0.00% | 0.92% | 0.54% | 2.14% |
| レゾリューション | -1.92% | -4.43% | -1.60% | 1.93% | 0.57% | 2.72% | -1.63% | 3.38% | 2.61% | -1.26% | 1.14% | 3.19% | 4.44% |

※ 上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1 (以下「HFS」という) にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。

※ HFS1へのウィズダムの組み入れは、2016年11月末までです。ウィズダムは2017年1月25日をもって償還しました。



エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

相場動向

7月の株式相場は、日経平均で0.54%下落の19,925.18円、TOPIXで0.42%上昇の1,618.61ptとなりました。米長期金利上昇や米主要株価指数の市場最高値更新を受け円安が進んだことを好感し上昇するも、政治不安が重石となり買いは進まず、もみあいの展開となりました。

上旬は、都議選での自民党の敗北や北朝鮮による弾道ミサイル発射等の悪材料があったものの、日銀短観や米雇用統計などの経済指標が好調だったことを好感し、小幅に上昇しました。米長期金利の上昇により円安・ドル高が進み、外需株へ買いが入りました。

中旬から下旬にかけては、上値は重く、一進一退が続きました。米政権の先行き不透明感やFOMCの結果を受けて米長期金利が下落に転じると、円高・ドル安となり、外需株や金融株が売られました。一方で、好決算を発表した銘柄や好業績が期待できる銘柄に買いが集まりました。特に、小型株、内需株が相対的に好調で、内需の成長性、収益性の高い銘柄が選好されました。

需給面では、海外投資家が2ヵ月ぶりに買い越しとなりました。国内の投資主体は、信託銀行が2ヵ月連続の買い越し、個人投資家が4ヵ月連続の売り越し、投資信託が3ヵ月ぶりの買い越し、事業法人が16ヵ月連続の買い越しとなりました。

セクター別騰落率では、鉄鋼、非鉄金属、繊維製品、電気機器、輸送用機器が上位となり、銀行、パルプ・紙、ゴム製品、陸運業、不動産業が下位となりました。

東証一部の売買代金は1日当たり2.21兆円と、活況の目安となる2兆円を9ヵ月連続で上回りました。

新興市場の騰落率は、JASDAQインデックスが3.2%の上昇となった一方、東証マザーズ指数は2.3%の下落となりました。

ファクター面では、経常利益成長率や予想ROEなどのグロースファクターが好調で、企業の収益力を重視するトレンドが継続しました。

組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

【ブライース】 〈ファンド運用状況〉

7月の運用成績はJPYクラスで+1.29%となりました。ショートの上位銘柄が相対的にアンダーパフォームしたことや、決算発表を受けて株価の割高・割安の修正があったことがプラスの要因となりました。

セクター別の損益では、電機、REIT、石油、化学、証券セクターでプラスとなり、不動産、陸運セクターでマイナスとなりました。

【レゾリューション】 〈ファンド運用状況〉

7月は、ややグロース優位の相場となり、一部のハイバリュエーション銘柄に陰りが見えたものの、比較的値持ちのいい銘柄が多く見られました。全体の売買が多くない中で、一部の銘柄への売買集中が続いています。

ポートフォリオの傾向に大きな変化はなく、情報サービス銘柄のロングバイアスが大きく、ディフェンシブ銘柄がややショートバイアスとなっています。一方、極端な小型ロングバイアスは修正されています。

個別銘柄では、ハイバリュエーション銘柄のショートの一部や、好業績銘柄のロングがプラス寄与となり、ハイバリュエーション銘柄の多くや一部テクノロジー銘柄のショートがマイナス寄与となりました。

パフォーマンスは、ハイバリュエーションなショート銘柄のマイナス寄与が大きく、ロング銘柄でカバー出来なかったことから、結果としてマイナスに終わりました。

〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

8月の株式市場は揉み合いの相場展開を想定します。日米の政治の混乱やドル安傾向が継続していることから、上値追いは難しいと考えます。しかし、企業業績が想定以上に堅調で押し目買い意欲も強まると思われることから、日本株は底堅く推移すると考えます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

第一四半期決算の発表により、株価が大きく変動しやすくなっています。季節的にも、比較的業績に素直な反応が続くと思われませんが、業績の持続性を吟味し、銘柄入替を積極的に行いたいと思います。

内需グロース株が値持ちすることも想定されますが、いずれ調整局面を迎えざるを得ないと考えます。当面は、銘柄入れ替えに注力し、ロングでは、割安な内需の安定成長銘柄の組み入れを増やします。

高回転率のハイバリュエーション銘柄については、業績の吟味も加味し、徐々にショートポジションへの組み入れを行います。

事業環境の濃淡も出始めていることから、引き続き業績に裏付けされた個別株によるパフォーマンス積み上げに努めて参ります。

投資信託の主な関係法人

| | |
|-------------------|---|
| 管理会社: | インターナショナル・マネジメント・サービス・リミテッド |
| 信託会社: | G.A.S. (ケイマン)リミテッド |
| 管理事務代行会社: | エスエムティー・ファンド・サービス(アイルランド)リミテッド |
| 保管銀行: | スミトモ・ツイ・トラスト(ユーケイ)リミテッド |
| 投資運用会社: | エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号 加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会 |
| 代行協会員・日本における販売会社: | ヘッジファンド証券株式会社 http://hedgefund-sec.com/ 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号 加入協会:日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |



エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

ご留意事項

- 当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。
- 投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。
- 当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。
- 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
- 運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。